

消費生活実修講座自主研究レポート

実修講座では、消費生活分野の幅広い知識習得のため、グループごとに自主研究に取り組みました。4グループのすばらしい研究成果をご紹介します

輸入食品について

グループ名：あばき隊

輸入餃子事件以来、輸入食品に対する不安が一層募りました。私たちの食生活は輸入食品なくては成り立ちません。輸入食品は本当に安全なのか？！調べてみることにしました。

①市場調査

ハチミツ・干しいたけ・小麦・大豆について表示、価格、味を調べましたが、輸入食品に対する不安は解消されず、わからないことが多くあることに気づきました。

②福井県食品安全・衛生課による学習会「輸入食品の現状」

食品等の輸入時には、検査制度があり、必ず届出が必要であることがわかりました。計画的に検査され、違反の頻度に応じて検査体制が厳しくなっていきます。



③北陸農政局による学習会「農薬に関する安全性」

農薬には農薬登録制度があり、安全性が確認されていない農薬は登録されず、つまり使用できないことがわかりました。また、残留農薬の基準が設定されていること、農産物に対する農薬使用基準もポジティブリスト制度によって定められていることを知りました。

④食品表示に関する学習

「生鮮品（農水畜産物）には名称と原産国が必ず表示されている」「加工品は原料原産地として一部指定あるもの（焼き海苔など20食品群）が表示されている」ということを知りました。

福井市中央卸売市場の見学→



★「輸入食品が怖い」と言ってるだけではダメ。

... 報道の読み解き方、知識不足、食生活、私たちにも大きな責任があります！

- ・購入の際は、食品表示をよく確認することが大切。食品表示を正しく理解するために学習も必要。
- ・検疫の仕組みや残留農薬に対する国の対応を学び、少し不安が減少しました。

金融商品の基礎知識

グループ名：富和レディース

「FX(外国為替保証金取引)ってなに？」「ラクに儲かる方法はないの？」「自己責任って、どこまで自分を守るの？」「銀行で保険や証券を扱っておいしいね」という意見から、金融広報中央委員会(知るぽると)の「金融商品なんでも百科」を教科書に基礎的な学習を始めました。

①金融商品に関する学習

■金融商品を知る3つの基準

「安全性」「流動性」「収益性」収益性がよく、安全で、いつでも換金できる商品はありません。

■金融商品保有の目的を見極める
目減りしては困る資金は保有し、利殖資金はあくまでもゆとり資金の範囲で行うことが大切です。

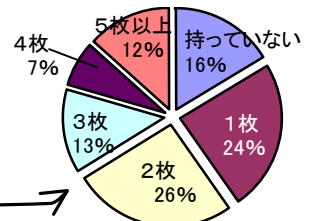


②株価の変動調査(8/5~9/5)

株価は世の中の流れが大きく影響します。為替変動や景気について関心が高まりました。また、株のメリットは配当だけでなくサービスもあることを知りました。

③クレジットカードに関するアンケート調査

20代~70代100人の男女に聞きました。8割以上の方がクレジットカードを持っており、中には4枚、5枚と数多く持っている人もいました。カードを持っていない人のほとんどが70代でした。



★ハイリターン・ローリスクの金融商品はありません。最終的には「自己責任」を肝に銘じて！

- ・欲しいものは今必要なものかよく考えて！まずは貯金！貯めてから買いましょう。
- ・クレジットカードは会費や手数料がかかります。安易にカードは作らない、使わない。
- ・金融商品を契約するときは契約書の重要事項等をよく読んで確認しましょう！